

6月クイズ 全30問

Q1. 6月といえば、毎年やってくる雨の多い季節を何という？

- ① 梅雨（つゆ）
- ② 台風シーズン
- ③ 雪解け

ヒント：「梅」の字が入った言葉です。

答え：① 梅雨（つゆ） 梅の実が熟すころに降る長雨を「梅雨」と書きます。

Q2. 6月によく見かける、青やピンクの丸い花は？

- ① ひまわり
- ② あじさい
- ③ コスモス

ヒント：雨に濡れた姿がとても美しい花です。

答え：② あじさい あじさいは梅雨を代表する花。土の性質で色が変わります。

Q3. 6月の第3日曜日は何の日でしょう？

- ① 母の日
- ② 父の日
- ③ 敬老の日

ヒント：お父さんに感謝を伝える日です。

答え：② 父の日 父の日は6月第3日曜日。母の日は5月、敬老の日は9月です。

Q4. 梅雨どきに、あじさいの葉でよく見かける、殻を背負った生き物は？

- ① かえる
- ② かたつむり
- ③ とんぼ

ヒント：ゆっくり歩いて、つのはを出す生き物です。

答え：② かたつむり かたつむりは梅雨を代表する風物詩のひとつです。

Q5. 6月1日に行われる、季節に合わせて服を替えることを何という？

- ① 衣替え（ころもがえ）
- ② 模様替え
- ③ 衣装合わせ

ヒント：制服が夏服に変わる時期ですね。

答え：① 衣替え（ころもがえ） 6月1日は衣替え。冬服から夏服へ切り替える節目です。

Q6. 雨の日に「晴れますように」と願ってつるす、白い人形は？

- ① こけし
- ② てるてる坊主
- ③ かかし

ヒント：軒先につるす、白い布で作る人形です。

答え：② てるてる坊主 てるてる坊主は天気を願うおまじない。かかしは鳥よけです。

Q7. 6月ごろ、田んぼでさかんに鳴く生き物は？

- ① せみ
- ② かえる
- ③ すずむし

ヒント：「ケロケロ」と鳴きます。

答え：② かえる 梅雨のころ田んぼでかえるが鳴きます。せみは夏、すずむしは秋です。

Q8. 6月ごろに収穫した梅で作る、すっぱい保存食は？

- ① 梅干し
- ② たくあん
- ③ 福神漬け

ヒント：三角のおにぎりの真ん中によく入っています。

答え：① 梅干し 梅は6月が収穫期。梅干しや梅酒づくりは初夏の楽しみです。

Q9. 6月の空によく広がる、雨を降らせる灰色の雲は？

- ① 入道雲
- ② 雨雲（あまぐも）
- ③ うろこ雲

ヒント：どんよりした、雨を降らせる雲です。

答え：② 雨雲（あまぐも） 梅雨は雨雲が広がりがち。入道雲は夏、うろこ雲は秋の雲です。

Q10. 梅雨どきに、しとしとと長く降り続く雨を何という？

- ① 夕立（ゆうだち）
- ② 長雨（ながあめ）
- ③ にわか雨

ヒント：「長」い「雨」と書きます。

答え：② 長雨（ながあめ） 梅雨は長雨が特徴。夕立やにわか雨は短時間に激しく降る雨です。

Q11. 6月の昔の呼び名（旧暦の月名）は次のうちどれ？

- ① 水無月（みなづき）
- ② 神無月（かんなづき）
- ③ 霜月（しもつき）

ヒント：「水が無い月」と書きますが、実は意味が逆とも。

答え：① 水無月（みなづき） 6月は水無月。「水の月」という説も。神無月は10月、霜月は11月。

Q12. 6月10日は何の記念日でしょう？

- ① 時の記念日
- ② 海の日
- ③ 山の日

ヒント：日本で初めて時計が時を知らせた日にちなみます。

答え：① 時の記念日 時の記念日は6月10日。時間の大切さを見直す日です。

Q13. あじさいの花の色が変わるのは、何の関係している？

- ① 気温
- ② 土の性質（酸性・アルカリ性）
- ③ 月の満ち欠け

ヒント：育てる「つち」によって青やピンクに変わります。

答え：② 土の性質（酸性・アルカリ性） 酸性の土だと青、アルカリ性だと赤・ピンクになりやすいです。

Q14. 京都などで6月30日に食べる、三角形の和菓子の名前は？

- ① 水無月（みなづき）
- ② わらび餅
- ③ ようかん

ヒント：6月の旧暦の呼び名と同じ名前のお菓子です。

答え：① 水無月（みなづき） 白いういろくに小豆をのせた三角の和菓子。汚れを払う意味があります。

Q15. 梅雨の合間に、ふと晴れる日のことを何という？

- ① 五月晴れ（さつきばれ）
- ② 小春日和
- ③ 秋晴れ

ヒント：旧暦5月（今の6月）の晴れ間を指します。

答え：① 五月晴れ（さつきばれ） 本来「五月晴れ」は梅雨の晴れ間。小春日和は晩秋の暖かい日です。

Q16. 6月が旬で、干物などでもおなじみの青魚は？

- ① さんま
- ② あじ（鰯）
- ③ ぶり

ヒント：「あ」から始まる、開き干しが有名な魚です。

答え：② あじ（鰯） あじは初夏が旬。さんまは秋、ぶりは冬が旬の代表です。

Q17. 6月ごろに見られる「ホタル」が光るのは、主に何のため？

- ① 体を温めるため
- ② 仲間や相手に合図を送るため
- ③ 敵を驚かすため

ヒント：おもに結婚相手を見つけるためです。

答え：② 仲間や相手に合図を送るため ホタルの光はおもに求愛のため。きれいな水辺で見られます。

Q18. 「入梅（にゅうばい）」とは何のこと？

- ① 梅雨入りの目安となる日
- ② 梅を収穫する日
- ③ 梅干しを食べる日

ヒント：梅雨に「入る」と書きますね。

答え：① 梅雨入りの目安となる日 入梅は梅雨入りの目安とされる雑節で、6月11日ごろです。

Q19. 6月21日ごろにある、1年で最も昼が長い日を何という？

- ① 夏至（げし）
- ② 冬至（とうじ）
- ③ 春分（しゅんぶん）

ヒント：「夏」の字が入った言葉です。

答え：① 夏至（げし） 夏至は昼が最も長い日。これを境に少しずつ日が短くなります。

Q20. 父の日に贈る花として定番の色は？

- ① 赤いカーネーション
- ② 黄色いバラ
- ③ 白いユリ

ヒント：母の日のカーネーションに対して、父の日は「黄色」。

答え：② 黄色いバラ 父の日は黄色いバラやひまわりが定番。黄色は幸福を表します。

Q21. 「梅雨」を「つゆ」と読むようになった由来として有力な説は？

- ① 梅の実が熟して潰れる「潰ゆ（つゆ）」から
- ② 露（つゆ）がたくさん降りるから
- ③ 氷雨（ひさめ）がなまったから

ヒント：梅の実が「つぶれる」様子からきたという説です。

答え：① 梅の実が熟して潰れる「潰ゆ（つゆ）」から
梅の実が熟す「潰ゆ」が語源という説が有力。露からとする説も。

Q22. あじさいの「花びら」に見える部分は、実は何でしょう？

- ① 本物の花びら
- ② がく（萼）
- ③ 葉っぱ

ヒント：本当の花は中心の小さな粒の部分です。

答え：② がく（萼） 花びらに見えるのは「がく」。本当の花は中心の小さな部分です。

Q23. 松尾芭蕉も詠んだ「五月雨（さみだれ）」とは、いつ降る雨のこと？

- ① 5月のさわやかな雨
- ② 梅雨の長雨
- ③ 真夏の夕立

ヒント：「五月雨を集めて早し最上川」の、あの雨です。

答え：② 梅雨の長雨 五月雨は旧暦5月（今の6月）の長雨、つまり梅雨の雨を指します。

Q24. 時の記念日のもとになった、日本最古とされる時計は？

- ① 砂時計
- ② 漏刻（ろうこく＝水時計）
- ③ 日時計

ヒント：「水」を使って時間をはかる仕組みです。

答え：② 漏刻（ろうこく＝水時計） 天智天皇が設置したとされる水時計「漏刻」が由来です。

Q25. かたつむりと、なめくじの一番の違いは？

- ① 大きさ
- ② 殻があるかないか
- ③ 触角の数

ヒント：背中に「家」を背負っているかどうかです。

答え：② 殻があるかないか かたつむりは殻を持ち、なめくじは殻なし。実は近い仲間です。

Q26. 「ジュンブライド（6月の花嫁）」の由来になった、ローマ神話の女神は？

- ① ビーナス
- ② ジュノー（ユノ）
- ③ アテナ

ヒント：6月「June」の語源にもなった結婚の女神です。

答え：② ジュノー（ユノ） 結婚の女神ジュノーが6月を守り「June」の語源にもなりました。

Q27. 梅干しが「すっぱい」のは、おもに何という成分のため？

- ① クエン酸
- ② 砂糖
- ③ 炭酸

ヒント：疲れをとる働きもある「酸」です。

答え：① クエン酸 すっぱさはクエン酸。疲労回復に役立つといわれます。

Q28. 「あじさい」を漢字で書くと？

- ① 紫陽花
- ② 向日葵
- ③ 秋桜

ヒント：「紫」の「陽」の「花」と書きます。

答え：① 紫陽花 あじさいは「紫陽花」。向日葵はひまわり、秋桜はコスモスです。

Q29. 梅雨の時期に食中毒が増えやすいのは、なぜ？

- ① 気温と湿度が高く菌が増えやすいから
- ② 食欲が落ちるから
- ③ 雨で食材が濡れるから

ヒント：ジメジメして「ばい菌」が元気になるります。

答え：① 気温と湿度が高く菌が増えやすいから
高温多湿は細菌が繁殖しやすい環境。食品の管理に注意が必要です。

Q30. 1年の折り返し、6月30日に多くの神社で行われる行事は？

- ① 初詣
- ② 夏越の祓（なごしのはらえ）
- ③ 七五三

ヒント：大きな茅（ち）の輪をくぐる行事です。

答え：② 夏越の祓（なごしのはらえ） 茅の輪をくぐり、半年の汚れを払い残り半年の無事を願う行事です。